

2026 年 8 月 31 日

NTT ドコモビジネス株式会社

**NTT ドコモビジネス、デロイト トーマツ、ユニ・チャームが、
GX フューチャー・リーグにおいて
「生活用品の環境価値と市場性の両立によるグリーンエコノミー形成 WG」を設立
し、社会実装にむけた検討を開始
～趣旨に賛同する企業・団体の参加を募集～**

NTT ドコモビジネス株式会社(旧 NTT コミュニケーションズ株式会社、以下 NTT ドコモビジネス)は、合同会社デロイト トーマツ(以下 デロイト トーマツ)、ユニ・チャーム株式会社(以下 ユニ・チャーム)と共同で、「GX フューチャー・リーグ^{※1}」の枠組みにおいて、「生活用品の環境価値と市場性の両立によるグリーンエコノミー形成 WG(以下 本 WG)」を設立し、社会実装に向けた検討を開始しました。

1. 背景

近年、温室効果ガス(GHG)排出削減や資源循環を重視した国際的な政策強化が進む中、企業の GX 投資をサプライチェーン全体へ広げ、その価値を市場で適切に評価する仕組みの構築が求められています。

本 WG の前身である昨年度の「中間排出事業者を通じたグリーン市場創造検討 WG^{※2}」では、生活用品分野において、GHG 削減による環境価値だけでは、消費者の購買行動につなげることが難しいとされました。一方で、資源の安定調達や経済安全保障にも資する資源循環の価値を含めて市場を形成することが、企業の経済価値向上の観点からも重要であることが示されました。さらに、社会実装に向けては、対応策の優先順位付けと具体化を進めることが重要な課題として整理されました。

こうした背景を踏まえ、NTT ドコモビジネス、デロイト トーマツ、ユニ・チャームは、本 WG を設立し、生活用品分野におけるグリーン市場の創造に向けて、サプライチェーン全体を通じた環境価値の可視化と、その信頼性を担保する仕組みの具体化を進めます。併せて、製造・販売・回収・再資源化までを視野に入れたグリーンエコノミーの形成を検討し、企業の GX 投資が市場で適切に評価される市場環境の整備を推進します。さらに、原材料調達から製品の廃棄・リサイクルまでを含むサプライチェーン全体での GHG 排出量削減への貢献をめざします。

2. 本 WG での検討内容

本 WG では、昨年度の検討成果を踏まえ、主に以下の論点について議論を進めます。

- 消費財をはじめとする軽工業を中心に、中小・中堅企業も含めたサプライチェーンの中間に位置する加工や製造などの事業者が、グリーン市場の形成と健全な経済活動の両立に向けた課題の抽出と、対応施策の検討を進めます。

- 具体的には、GX 推進のカギを握る製品単位での環境価値を定義・可視化し、消費者への適切な訴求方法、ならびにそれらを支える第三者による信頼性確保の仕組みについて検討を行います。
- 本 WG のもとに「環境価値データ流通・社会実装サブ・ワーキング・グループ(以下 SWG)」を設置し、軽工業分野におけるサプライヤーとメーカー間の一次データ連携の実現可能性についても検討を深めます。

業種や企業規模を問わず、本 WG および SWG の趣旨に賛同いただける企業・団体の参加を広く募り、産業界全体での取り組みとして展開することで、より持続可能かつ実効性の高い仕組みの構築をめざします。^{※3}

3. 本 WG・SWG の概要

本 WG・SWG の概要は以下の通りです。

WG 名称	生活用品の環境価値と市場性の両立によるグリーンエコノミー形成 WG
目的	各社の GX の取り組みが企業価値向上につながり、かつ多様なステークホルダーとの共創による多面的な価値創出をめざし、グリーン市場の在り方と具体的な実現方策を検討する
主な検討内容	・ 環境価値の信頼性担保スキームの構築に向けた具体的アプローチおよび実証案の提示 ・ 多面的な価値を発揮するグリーン市場の将来像および形成方向性の策定 ・ 社会全体での一体的な GHG 排出削減に向けた消費者の巻き込み方針の明確化
運営幹事	ユニ・チャーム

SWG 名称	環境価値データ流通・社会実装 SWG
目的	2025 年度に整理したデータ流通の実現に向けた課題や社会実装方法案を踏まえ、より具体的な運用に移すための共通ルール・実行体制を検討する
主な検討内容	・ グリーン市場創出のために流通させるべきデータ項目と流通方法の整理 ・ データ流通の実践に向けた業界共通ルール、ガイドライン素案の策定 ・ データスペースを含めた要素技術の社会実装に向けた運用体制、ビジネスモデル、推進母体の検討
運営幹事	NTT ドコモビジネス

■ 各社の役割

ユニ・チャーム

本 WG の幹事企業として、事業活動において培ってきた排出削減や環境価値の可視化などの GX に関する実績を基に、WG 全体の進行・運営、および成果物の取りまとめを担います。

NTT ドコモビジネス

データ流通に関する専門的知見を生かして SWG のリーダーを務め、論点の整理および成果の取りまとめを中心に、SWG 全体を主導します。

デロイト トーマツ

サステナビリティや GX に関する幅広い知見と多様な企業支援実績、特に製品単位の環境価値の定義、データ利活用の仕組み設計、企業間連携の在り方など、企業が自らの価値をグリーン市場で発揮するための支援実績を生かし、本 WG および SWG における議論の整理・推進を担います。

4. 今後の展開

本 WG および SWG では、得られた知見を基に、次年度以降の実証を見据えたガイドライン策定や実運用ルールの検討を進めます。これにより、環境価値データの安全かつ効率的な流通と、その価値が市場で適切に評価される仕組みづくりを推進し、サプライチェーン全体での GX 推進およびグリーン市場の形成に貢献していきます。

「NTT コミュニケーションズ株式会社」は 2025 年 7 月 1 日に社名を「NTT ドコモビジネス株式会社」に変更しました。私たちは、企業と地域が持続的に成長できる自律・分散・協調型社会を支える「産業・地域 DX のプラットフォーマー」として、新たな価値を生み出し、豊かな社会の実現をめざします。

つながる。驚きを。幸せを。



<https://www.ntt.com/about-us/nttdocomobusiness.html>

※1：GX フューチャー・リーグとは、GX フューチャー・コンソーシアムの主要活動の一つとして、企業を起点とした GX に関する需要創出やルール形成を官民で推進し、GX の社会実装をめざす取り組みです。

※2：中間排出事業者を通じたグリーン市場創造検討 WG とは、サプライチェーンの中間に位置する加工・製造などの事業者を起点に、環境価値の可視化や消費者への価値訴求、信頼性確保の仕組みを検討し、グリーン市場の形成に向けた課題と対応策を整理したワーキンググループです。詳細は以下をご確認ください。

[ニュース 2025 年 7 月 16 日:NTT ドコモビジネス、ユニ・チャーム、デロイトトーマツが GX リーグで新たなワーキング・グループを共同設立](#)

※3：本 WG の設立および参加募集に関する詳細は、GX フューチャー・リーグ公式 Web サイトの記事をご参照ください：[2026 年度 GX フューチャー・リーグ「ワーキング・グループ」の活動として、6 つの WG を組成いたしました | GX フューチャー・コンソーシアム](#)